

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成29年6月29日(2017.6.29)

【公表番号】特表2016-521184(P2016-521184A)

【公表日】平成28年7月21日(2016.7.21)

【年通号数】公開・登録公報2016-043

【出願番号】特願2016-513179(P2016-513179)

【国際特許分類】

A 43 B 23/02 (2006.01)

A 43 B 5/02 (2006.01)

【F I】

A 43 B 23/02 101Z

A 43 B 5/02

A 43 B 23/02 104

【手続補正書】

【提出日】平成29年5月15日(2017.5.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

靴底と、アッパーと、タンとを有するフットボール用短靴またはブーツであって、前記アッパーは、前記タンと重なり、後端で開き前端で閉じている各スリットにより、左右の端において前記アッパーの側面部分から離されているフラップを有し、前記フラップは、ボールコントロール領域を含む上面を有し、

前記ボールコントロール領域は、前記スリットの前記前端の後方に位置する最先端から後方へ伸びてあり、

前記ボールコントロール領域の中央縦方向の長さは、前記ボールコントロール領域の中央最高部から前記スリットの前端同士をつなぐラインまでの縦方向の距離の50～90%であることを特徴とする、フットボール用短靴またはブーツ。

【請求項2】

前記スリットには、前記フットボール用短靴またはブーツの装着時に、前記フラップの前記左右の端と当該端に向かい合う前記アッパーの側面部分との相対位置を調整するひも締め部が設けられた、請求項1に記載のフットボール用短靴またはブーツ。

【請求項3】

前記ひも締め部は、前記フラップの前記左右の端および前記アッパーの前記側面部分において、複数の穴または開口部の間に伸びる、請求項2に記載のフットボール用短靴またはブーツ。

【請求項4】

前記ひも締め部は、前記フラップの後端に隣接し、前記アッパーの前記側面部分にある各開口部を通って、前記アッパーの外へ出されて、指で取り扱われる一つまたは大部分のひもを有する、請求項2または3に記載のフットボール用短靴またはブーツ。

【請求項5】

前記ボールコントロール領域は、左右の隆起部分の間に横方向に湾曲した表面を備える、請求項1～4のいずれか1項に記載のフットボール用短靴またはブーツ。

【請求項6】

前記フックを含む前記アッパーは、前記ボールコントロール領域を除いて、装着者の快適性のため柔軟な素材を備えるのに対し、前記ボールコントロール領域は、前記隆起部分および横方向に湾曲した表面を定め、前記ボールコントロール領域を含む前記アッパーに接触することでキックされるボールにより速い速度を与える相対的により硬い素材からなる、請求項5に記載のフットボール用短靴またはブーツ。

【請求項7】

前記隆起部分が後方から前方に向かって先細になることで、前記湾曲した表面および前記隆起部分が、前記ボールコントロール領域の前方において前記アッパーの表面領域と実質的に一体化している、請求項5または6に記載フットボール用短靴またはブーツ。

【請求項8】

前記隆起部分の下端は、前記フックの前記左右の端から後退している、請求項5、6または7に記載のフットボール用短靴またはブーツ。

【請求項9】

前記タンは、前記フックよりも後方へ伸びて、前記フックの後端と装着者の足首との間で緩衝作用をもたらす、請求項1～8のいずれか1項に記載のフットボール用短靴またはブーツ。

【請求項10】

前記フックの後端は、端にステッチを施すことを避けるための端部で仕上げられる、請求項9に記載のフットボール用短靴またはブーツ。

【請求項11】

前記スリットの長さはそれぞれ、前記フックの後部から前記短靴またはブーツのつま先までの長さの40～60%である、請求項1～10のいずれか1項に記載のフットボール用短靴またはブーツ。

【請求項12】

前記フックは、前記アッパーの前記側面部分を含む取り囲み部および前記フックの前方のつま先領域にステッチで取り付けられた、または固定された、一体型の独立部である、請求項1～11のいずれか1項に記載のフットボール用短靴またはブーツ。

【請求項13】

前記ボールコントロール領域は、前記スリットの前端の実質的に後方に位置する前記最前端から後方へ伸びている、請求項1～12のいずれか1項に記載のフットボール用短靴またはブーツ。

【請求項14】

前記ボールコントロール領域の中央縦方向の長さは、前記コントロール領域の中央最高部から前記スリットの前記前端同士をつなぐラインまでの縦方向の距離の60～80%、好ましくは70～75%である、請求項1～13のいずれか1項に記載のフットボール用短靴またはブーツ。